

コツメカワウソ

水べの
アイドル



コツメカワウソは、アジアの川や池のそばにすむ、せかいで一ばん小さなカワウソです。

「コツメ」という名まえのとおり、前あしのつめがとても小さく、人間と同じように五本のゆびがあります。

生まれたばかりの赤ちゃんは、まだおよげなため、水に入ることをとてこわがります。そこで、お父さんとお母さんが毎日すこしずつ、およぎ方をていねいに教えます。一人前におよげるようになるまで、なん週間もかかるのです。

およげるようになると、水の中のえさとりがはじまります。水の中では、小さな前あしを上手につかって川のその石をひっくりかえし、かにや貝を見つけて食べます。

コツメカワウソは、一生同じあいてとくらします。夜ねむるときは、なかまと手をつないでねむったり、水のながれにまかせて、うかびながら休んだりすることもあります。なかまとよりそいあつて、きずなをふかめていくのです。

せんたく(1)

夜ねむるとき、なかまとどうやってねむりますか？
えらんで○をつけましょう。

①せなかをあわせて

②手をつないで

③はなれてひとりで

せんたく(2)

コツメカワウソは一生だれとくらしめますか？
えらんで○をつけましょう。

①ひとりで

②同じあいて

③ちがうあいて

きじゆつ(1)

なぜ生まれたばかりの赤ちゃんは水に入ることをごわがるのでしょうか？

きじゆつ(2)

水の中では何をつかってえさをさがすのでしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1)くち

(2)たに

(3)たま

--	--	--

こたえ

コツメカワウソ

せんたく

(1) ②

(2) ②

きじゅつ

(1) まだおよげないから

(2) ^{まえ}前あし

かん字

(1) ^{くち}口

(2) ^{たに}谷

(3) ^{たま}玉